

自治会加入促進マニュアル (手引書)



鹿沼市自治会連合会（自治会加入促進特別委員会）発行

令和6年3月 第2版

目 次

1. はじめに	1
2. 本書の活用について	2
3. 自治会の必要性と活動	3～5
(1) 自治会の必要性	
(2) 自治会の活動	
4. 情報収集体制と勧誘活動体制（組織体制の構築）	6～9
(1) 新たに居住してきた（してくる）住民に対して	
(2) 以前から居住している住民に対して	
(3) 地域イベント等への協力体制と未加入者へのアプローチ	
(4) 自治会未加入者と接する機会を維持するために	
5. 自治会加入促進の進め方	10～24
(1) 呼びかけの手順	
(2) 訪問方法	
(3) 分譲住宅・集合住宅居住者への加入呼びかけ	
(4) 学生・短期居住単身者への加入呼びかけ	
(5) 外国人への加入呼びかけ	
(6) 事業者に対する働きかけ	
(7) 自治会加入勧誘活動の流れ（フローチャート）	
(8) 一般的な想定質問と回答例（Q & A）	
6. 自治会の円滑な運営と活性化のためのヒント	25～27
7. 事例集	28～30
8. 訪問時の話しかけ方・勧誘文書（例示）	31～32
9. 本市の主な自治会活動	33
10. 資 料	34～36
・自治会加入促進基本綱領	
・自治会加入促進特別委員会規約	

1. はじめに

自治会は、同じ地域に住む皆さんが、互いに協力しあって自主的に運営している最も身近な住民自治組織です。そして、日ごろから交流を通じて連帯感を深め、地域に共通する様々な課題をみんなで協力して解決する役割を担っています。

近年、各地で起きている大地震や豪雨による自然災害などでは、個人の力だけでは生活面の再建も難しく、地域住民が力を合わせていかなければならない状況であることから、改めて地域コミュニティのつながりが重要視され、自治会に対する期待も高まっています。

しかしながら、住民の価値観の多様化や少子高齢化の急速な進行などにより、自治会への加入や、自治会活動への参加は総じて減少傾向が続いております。加入率の低下は、活動の担い手確保に支障をきたすとともに、いざというときの地域で支え合う力にも影響を及ぼすことから、鹿沼市においても、加入率を向上せねばならないことを決意し、加入促進特別委員会を発足いたしました。

地域コミュニティづくり推進の中核となるのが地縁団体である自治会であり、多くの地域住民が自治会活動に参画することによってこそ、はじめて「地域に根差した活動」となります。

単位自治会の事業の中で、常に加入率の向上活動は最重要課題の取り組み事項であると考えます。また、加入したくなるような、「魅力ある自治会」づくりが求められているのではないのでしょうか。そこで、お年寄りを住み慣れたところで温かく支える地域包括ケアシステム第2層協議体の推進や、いつどこで起こるか判らぬ自然災害の猛威に対してなど、地域コミュニティの重要性が益々再認識されています。

自治会加入率が低い状態は出来るだけ「早期に解消」しなければならなく、その対応が急務となっています。

「鹿沼市のすべての方々」市民（地域住民）・市行政・市議会・住宅関連業者・事業者その他、の方々が、自治会活動を理解して頂きまして、ご支援くださいますようお願いいたします。

- ・市民（地域住民）の役割

地域社会の一員であることを再認識し、自治会に入会して活動に参画するようにしていただきたい。参画の方法は直接的または間接的にと、ライフスタイルに応じたもので良いので、まず入会をお願いいたします。

- ・自治会長の役割

地域住民（町民）の代表として、単位自治会運営の要として、また町内の奉仕者として、職責を自覚し、その職責にふさわしい人格と倫理の向上に努めなければならない。

地縁団体の代表として、良心に従い誠実かつ公正であり、もって清潔で民主的でなければならない。物事への対応は常に平等公平でなければならない。

また、目的達成のため倫理観を損なう贈与、金品の授受、買収、寄附などを行わないこととします。

地域の方々が相互に理解し協力し合い、安心して暮らせる地域社会を構築（醸成）するため、多くの地域住民が価値観の違いを超えて、地域コミュニティづくりの推進のため、全ての方に自治会に入会していただきますようお願いいたします。

2. 本書の活用について

本書では、自治会未加入世帯への加入呼びかけの際の基本的な方法や実践例、予想される質問などについてまとめました。

役員の皆様には、自治会活動や自治会の必要性を説明する際に、このマニュアルを参考にいただき、皆様の地域にあった形で加入促進活動をさらに進めるための一助としてご活用いただけると幸いです。

